



交通安全

# シグナルメーカー

平成 23 年 7 月  
第 23 - 5 号  
高岡市立戸出東部小学校  
富山県警察本部交通企画課

## イベント・コーナーで楽しい夏休みを！

いよいよ！

小学生にとっての最大のイベント！「夏休み」！！

家族みんなで海に行ったり泳いだり、山登りに行ったり。

もちろん宿題を早めに終わらせて、何の心配もなく楽しみたいですね。

夏休みを楽しく過ごすには、怪我をせず元気に過ごすことが大切です。

交通ルールを守らないと、交通事故に遭って痛い思いをして、

せっかくの夏休みが台無しになってしまうかもしれません。

交通ルールをしっかり守って、最高の夏休みにしましょう！

## 車道では 自転車は左 歩人は右

歩行者が歩道のない道路を歩くときは「右側」を歩かなければいけません。

また、自転車が歩道のない道路を通るときは道路の「左側」を進まなければいけません。

歩いているときは「車と向かい合って」歩き、自転車は「車と同じ向き」で乗りましょう。



左の標識がある歩道は、自転車に乗っている人も通ってよい歩道です。

そして、小学生のみなさんは、この標識がなくても、自転車で歩道を通ることができます。

自転車で歩道を通るときは、

歩行者の邪魔になるときはその場で止まること

歩道の真ん中よりも、車道寄りを通ること

を守らなければなりません。

## 歩道では 自転車は車道寄り 歩人は建物寄り

## 死角って何？

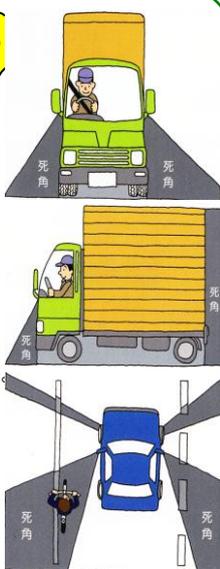
車のすぐ近くなのに、車の中に乗っている人からは見えない場所があるんです。

それが「死角（しかく）」です。

お父さんやお母さんの車にも死角がありますし、トラックのような大きな車になると、死角も大きくなります。

みんなから車は見えていても、車の運転手からはみんなが見えていないかもしれません。車に乗っている人からみんなが見えない場所は非常に危険なので、車のすぐ前や後ろで遊んだり車の近くで隠れんぼをしては、絶対にいけません。

車のすぐ横を通る時も、車の動きによく注意しましょう。



## いつもは ちゃんとしてるのに～

いつもは忘れ物なんかしないのに…

いつもはハンカチを持っているのに…

「いつもはちゃんとしてるのに～」って思ったことってよくありますよね。

忘れ物やハンカチなら、明日からちゃんと忘れないよう注意すれば大丈夫ですがシートベルトはそうはいきません。

もしも、シートベルトを締めていないときに交通事故に遭ったら、「明日からちゃんとしてよう」と反省するだけではすまないのです。

車に乗る時は、車に乗ったらすぐにシートベルトを締めて、赤ちゃんや小さな子どもが一緒の時はチャイルドシートに正しく座らせてから出発しましょう。



## 自転車に乗る前の心がけ

- 1 自転車に乗る前には、必ず自転車の点検をしましょう。
- 2 急いでいるような時でも、あわてず気をつけて乗るように自分に言い聞かせましょう。
- 3 自分の行き先や目的を、はっきりさせてから出発するようにしましょう。
- 4 行き先や帰ってくる時間は、必ず家の人に知らせておきましょう。
- 5 帰ってきたら、必ず家の人に報告をして、自分の自転車をきれいに手入れをしておきましょう。

シートベルト非着用だと

約14倍

致死率

約75倍

車外放出構成率

約51倍

前席乗員に重傷を負わせる確率